

～～8867回～～

ダイラボウ

～R2. 3. 22～

本来は筑波山の予定であったがコロナウィルスのため変更となる。「だいだらぼっち」の伝説から付けられたという山で頂上は広くだいだらぼっちの足跡の形をしている。高さは561mとハイキングに向いていて四季を通して登られている。静岡駅バス乗り場3番線(藁科線)から乗車。33分程で中藁科子ども園前に着き下車、藁科川にかかる富厚里橋を渡りそのまま直進し、川に沿って歩く。所々に民家があり、手入れされた庭に菜の花、しだれ桜、ヒヤシンス、花桃と楽しませてくれる。林道を1時間ぐらい歩くと富厚里峠に着く。登り口は峠を少し西へ下った左側にあり標識もある。入口から少し行くと杉や桧の植林帯になる。道はいったん林道に出るが標識に従って林道を行くと、すぐに左手に入る山道が見えるのでそれに入る。植林帯の道を行くと開けた所に茶畑がある。前回来た時は富士山が見えたが、今回は春霞で見えなかった。少し行くとショウジョウバカマの保護地がありピンク色の可憐な花とふわっと広がった緑色の葉が3輪5輪と迎えてくれ嬉しかった。前はもっと群生していたが少し早目なのか、群生が少なくなったのか多くなかった。保護地を過ぎると頂上はすぐだ。前はなかった「リバティの森薬木の園」という名前の植林した林が頂上の直前にあった。頂上にもショウジョウバカマの保護地があり、網で囲まれており、網の一か所がひもで開け閉めできるようになっていた。中に群生したショウジョウバカマが多くあり楽しめた。昼は山ごはんを卵入りワカメスープをいただく。スープがあるだけでほっとした気持ちになる。帰りは山頂広場から東に少し行った所から下り、飲用不敵の水場の先から急坂になる。30分位で農道に出る。農道を辿り、富厚里の集落に着く。4年ぐらい前に歩いた時は茶畑もしっかり手入れされていたが、今は手入れされていない様で荒れていた。朝来る時橋の上で見えたしだれ桜が近くにあると言われ見に行く。立派で大きな桜の木で満開の花をつけていた。公民館の周りに高圧の柵がありなぜこんな所にあるのか不思議だった。バス停で後ろから来た人たちが、茶畑の中をイノシシがぬけて行くのを見たというので、高圧の柵はイノシシ除けの為だと分かる。中藁科子ども園前でバスに乗り静岡駅に戻る。

参加者：12名（静岡東）

天気：晴れ

地図：静岡西部

コースタイム：静岡駅 743＝中藁科子ども園バス停 815…ダイラボウ登山口 930…山頂 1045-1135…公民館 1235…中藁科子ども園バス停 1309＝静岡駅 1345

記録：静岡東支部 Y. T



ショウジョウバカマ



ダイラボウ頂上広場